

就職活動日誌

【内定先】

業種：旅行業（グループ総合職）

選考方法：エントリーシート、全国共通適性検査、面接

説明会：合同説明会(仙台)2回、個別説明会(仙台)2回、グループサミット(東京)1回、東北UIターン対象者座談会(東京)1回、合計6回参加

【就職活動の流れ】

2015年3月

- ・学内説明会に参加する。
- ・学内集団面接講習会に参加する。
- ・マイナビEXPO(東京)に参加する。

就職活動は翌年だったが、雰囲気を知り、就職活動のイメージを持つため参加する。マイナビEXPOは1日だけの参加だったが、業種を絞らず説明会に参加する。ここで東京での合同説明会における人気企業の講演会予約が困難であることを知る。

2016年1月

- ・留学前に髪を黒くする。年が明けて1月から帰国後の就職活動を意識する。
- ・マイナビ・リクナビの登録をする。
- ・就職活動用のメールアドレスを作成する。

2016年2月

- ・下旬に帰国してそのまま実家へ留まり、3月の採用情報開示に先立ちスーツやパンプス等を購入する。
- ・証明写真を準備する。(30枚程・CDデータ有)
- ・就職活動用のスケジュール帳を購入する。

2016年3月

- ・マイナビ・リクナビ主催の合同説明会(仙台)に参加する。(3/1~3/3)

ここでは旅行、航空、ホテル、金融、広告、住宅メーカー、コンビニ、物流等、幅広く業種を見る。合同説明会での各ブース訪問では先輩社員と話せる機会が多いため少しでも興味を持った企業では人事の方や社員の方と話すことを重視する。この時点で第1志望を旅行業、内定先の企業と決め、今後の就職活動の方針を定める。

◎東京の合同説明会と比較して参加する学生が少ないことから人気企業の講演会の予約が取りやすい。

◎駅から会場まで無料バスが出ている（マイナビの場合、バスが多かったため待ち時間はあまりなかったが、リクナビはバスの数が限られていたためバスに乗れなかった。）

- ・個別説明会を約 20 社
- ・GD を 1 社
- ・1 次面接 1 社
- ・3 月は合同説明会后、個別説明会に参加する。この期間は春休みなので授業を気にせず就職活動に専念する。
- ・平日は毎日説明会に参加し、東京と地方を行き来する。スケジュール管理として東京で参加する説明会、地方で参加する説明会をバラバラではなく、それぞれ交通費を考慮して移動を少なくするためまとめて予約する。
- ・面接に関して、説明会の当日に翌日の 1 次面接の案内が来る。何も対策をしないまま面接に挑むが緊張や周りの雰囲気へのまれ、そのまま終了。
- ・3 月下旬にハローワークに行き、面接対策を行う。
- ・生協にて履歴書をまとめて購入する。

2016 年 4 月

- ・個別説明会を約 15 社
- ・GD1 社
- ・筆記試験 2 社
- ・2 次選考（グループ面接）3 社
- ・企業説明会だけでなく、選考も同時に進行する。ES や履歴書の提出期限が徐々に迫る。企業によっては指定された ES や履歴書を説明会当日に持参する場合もある。
- ・ハローワークには空き時間に通い、面接対策を引き続き行う。

2016 年 5 月

- ・個人面接 4 社
- ・グループ面接
- ・最終選考 1 社
- ・GD1 社
- ・4 月同様選考が進行する。ES や履歴書の提出締め切りが迫る。4 月末から徐々に書類選考結果が出始める。最終選考を受けた企業から 5 月下旬に 1 社から内々定をいただく。

2016 年 6 月

- ・最終選考 2 社。その後内々定の連絡をいただく。
- ・他の選考を全て辞退し、就職活動を終える。
- ・内々定をいただいた 2 社に辞退の連絡をする。

【就職活動を振り返って】

就職活動が始まる前は不安でいっぱいでしたが、始まってからはやるしかないと気持ちを切り替え挑みました。全体的に体力的や精神的につらい時もありましたが、学生や企業の方との交流時間は非常に有意義なものでした。特に同じ就活生との交流は情報交換や気分転換として楽しい時間でした。就職活動を嫌なものとして行うのではなく、大変さの中にも楽しさを見出すと選考にも良い影響があると思います。

自分のなかで注意していたことは決して他の就活生と自分を比較しないことです。ネット上にある就活情報掲示板をよく見ているという就活生が多くいましたが、そこでの情報よりも説明会での先輩社員から直接聞いた話の方が有意義で正確なものだと思います。自分の足で情報を得ることで自分のものとしてください。

アルバイトについて

就職活動中のアルバイトは宇都宮にほとんどいなかったため、休ませていただいていた。周囲の友人は就職活動の拠点を東京に置いていたため、宇都宮でのアルバイトも同時に行っていました。

面接について

「コミュニケーションにおける話すこと」と「面接における話すこと」は求められる能力や技術が異なると思います。そのことを1番最初に受けた面接で気づきました。最初の面接では自分理解がしっかりできているかを問われる質問が多かったです。そのため、ただ話すのではなく自分のことをわかりやすく、端的に話すことが重要だと感じました。どうしても長くだらだらと話してしまう癖があったため、ハローワークでの面接対策で徐々に改善していきました。また、なるべく早く面接を受けてみるのが大切です。本番を何度も何度も経験して、その度に何を聞かれたのか、どのように答えたのか、周囲の学生と自分の比較で気づいた点などをノートに書き出すことで改善点を見直し、他の学生の良い点を吸収していました。電車の移動時間などを使うと効率的だと思います。

拠点と移動について

拠点は就職活動を進める上で非常に重要です。私の場合、留学前は東京勤務希望だったのですが留学後は東北勤務希望に気持ちが変わりました。地方と東京では企業の選考スピード感が違うため東京で受けていた選考は仙台の企業選考のための練習として就職活動を進行していました。交通費の節約のため東京と宇都宮間の電車移動の場合は学割を使用し、地方と東京間は夜行バスを利用していました。夜行バスを利用した翌日はどちらも早朝に到着するためできるだけ選考の時間は午後にするなど自分の体調を考えながらスケジュール管理をしていました。東京に早朝到着の場合は新宿にある就活カフェ（営業時間が朝 6

時から夜 11 時で料金は 1 日 100 円) を利用してそこで ES や履歴書を作成していました。東京の場合は友人宅に宿泊し、仙台の場合は実家から通うなどして宿泊費もかからないようにしました。Uターンをする上でどうしても交通費はかかってしまうため、その他の面での節約が大事になってきます。

最後に

就職活動は自分のペースで自分らしさを大切にして下さい。ずっと休みなしに走ってしまうと体調を崩してしまうため、GW や土日はしっかり休み、時にはどこかへ遊びに行くと気分転換にもなります。少しずつ自分に合った就職活動との付き合い方を見つけてください。